

SCSIケーブル インストール手順

HP ProLiant DL100シリーズ
Generation 2サーバ用



取り付けを開始する前に、
必ずこのカードをお読みください。

© Copyright March 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品の保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用する場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

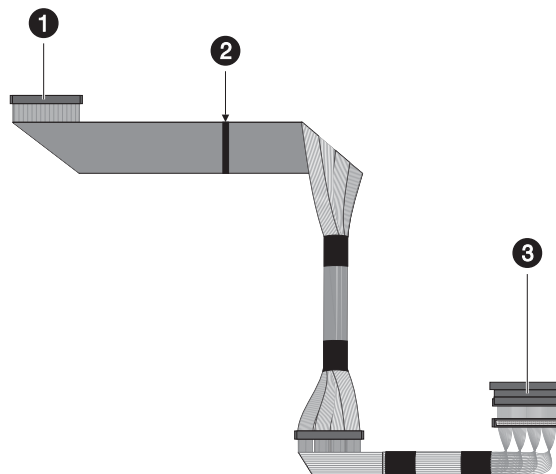
SCSIケーブル インストール手順

初版（2005年3月）
製品番号 381736-191



381736-191

SCSIケーブル各部の確認



番号	説明
1	コネクタ側
2	コネクタ側から240mmを示す位置
3	ターミネータ側

SCSIケーブル取り付けの概要

ここでは、SCSIケーブルの構成手順を簡単に説明します。

1. SCSIハードディスク ドライブを取り付けます。
2. SCSIコントローラ ボードを取り付けます。
3. SCSIドライブのケーブルを配線します。
4. SCSI構成をセットアップします。

SCSIコントローラ ボードに付属のマニュアルを参照してください。

SCSIケーブルの取り付けガイドライン

注：このカードで説明する手順は、サーバがラック外の水平で安定した場所に置かれていることを前提としています。

重要：SCSIケーブルを取り付ける際は、以降の各項で説明する取り付け前と取り付け後の手順に従ってください。



注意：ハードウェア コンポーネントを取り扱う際は、ご使用のProLiantサーバに該当する『Server Maintenance and Service Guide』の第2章にあるESDに関する注意事項に従ってください。このガイドは、HPのWebサイト<http://www.hp.com/>（英語）からダウンロードできます。



警告：サーバのカバーを開く前やハードウェア コンポーネントの取り外し/取り付けを行う前に、サーバの電源を正しく切っておかないと、装置が損傷したり、けがしたりすることがあります。



警告：表面が熱くなっているため、やけどをしないように、本体および内蔵のハードウェア コンポーネントが十分に冷めてから手を触れてください。

注：このカードの説明は、HP ProLiant DL100 Generation 2サーバ シリーズの複数のサーバ モデルに対応します。このため、カードの図が実際のProLiantサーバとは完全に一致しない場合があります。

取り付け前と取り付け後の手順

取り付け前の手順

1. サーバおよびサーバに接続されているすべての周辺装置の電源を切ります。
2. すべてのケーブルを電源コンセントから抜き取って、金属製の物質（工具や装身具）による回路のショートによって発生する高電圧による感電を防止します。
必要に応じて、各ケーブルにラベルを付けます。こうしておくと、後の組み立てが簡単になります。
3. 電気通信ケーブルを抜き取って、着信時に発生する電圧による感電を防止します。
4. トップ カバーを取り外します。

取り付け後の手順

1. すべてのコンポーネントが、説明されている手順に従って取り付けられていることを確認します。
2. サーバ内に残っている工具や固定されないまま残っている部品がないかどうかを調べます。
3. 取り外した拡張ボード、周辺装置、ボード カバー、およびシステム ケーブルを取り付けなおします。
4. トップ カバーを元に戻します。
5. すべての外部ケーブルとAC電源コードをシステムに接続します。
6. フロント パネルの電源ボタン (⏻) を押して、サーバの電源を入れます。

SCSIハードディスク ドライブの取り付け

1. 前の項で説明した取り付け前の手順を実行します。
2. 新しいSCSIハードディスク ドライブを取り付けるドライブ ベイを選択します。

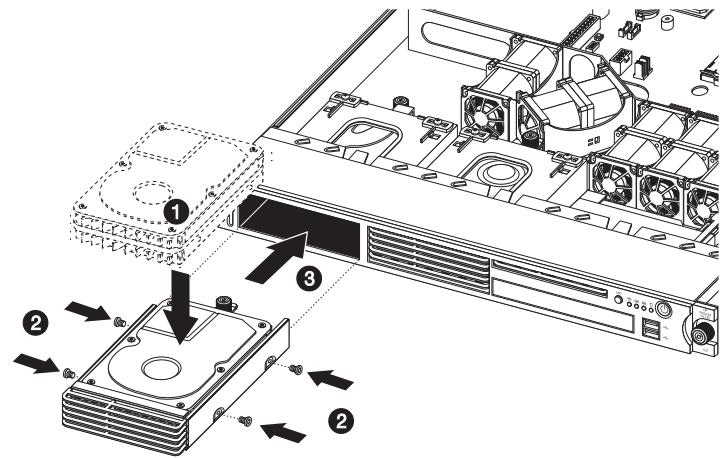
取り付け予定のドライブ ベイに別のドライブが取り付けられている場合は、ご使用のProLiantサーバに付属しているインストール シートに記載されている「ハードディスク ドライブの取り外し」の項の手順に従って、取り付けられているドライブを取り外します。

取り付け予定のドライブ ベイが空いている場合は、ご使用のProLiantサーバに付属しているインストール シートに記載されている「ハードディスク ドライブの取り外し」の項の手順1~4を実行した後、HDDキャリアからスペアのHDDマウント用ネジを4本取り外します。このスペア ネジは、新しいドライブの取り付けに使用します。

3. 次の手順を実行して、キャリアに新しいSCSIハードディスク ドライブを取り付けます。

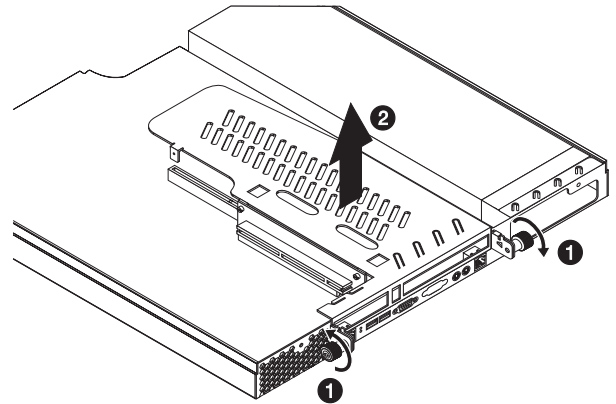
以前にハードディスク ドライブが取り付けられていたドライブ ベイに新しいドライブを取り付ける場合は、古いドライブから取り外したキャリアとHDDマウント用ネジを使用してください。空きドライブ ベイに新しいドライブを取り付ける場合は、そのドライブ ベイから取り外したキャリアとHDDマウント用ネジを使用してください。

- a. キャリア上で、新しいハードディスク ドライブの位置を合わせます。
- b. マウント用ネジを4本使用して、ハードディスク ドライブ アセンブリを固定します。
- c. ハードディスク ドライブ アセンブリを、本体にスライドさせて挿入します。



SCSIコントローラ ボードの取り付け

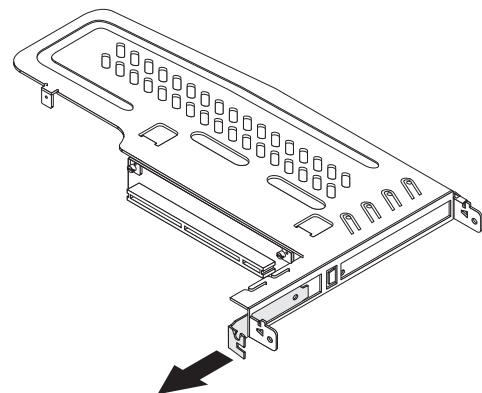
1. 次の手順を実行して、PCIライザ ボード アセンブリを取り外します。
 - a. アセンブリを本体に固定している2本の固定用つまみネジを緩めます。
 - b. アセンブリを持ち上げて、本体から取り外します。



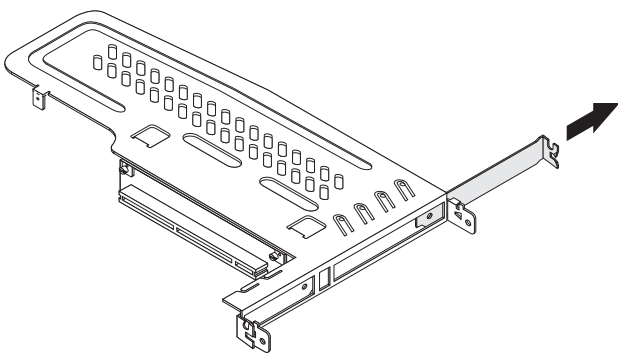
2. 取り付ける拡張ボードと互換性のあるスロットを確認します。
3. 選択したスロットからスロット カバーを引き出して取り外します。
カバーは後で使用できるように保管しておいてください。



注意：スロット カバーを廃棄しないでください。将来拡張ボードを取り外す際に、スロット カバーを再度取り付けて、冷却機構を正常に動作させなければなりません。

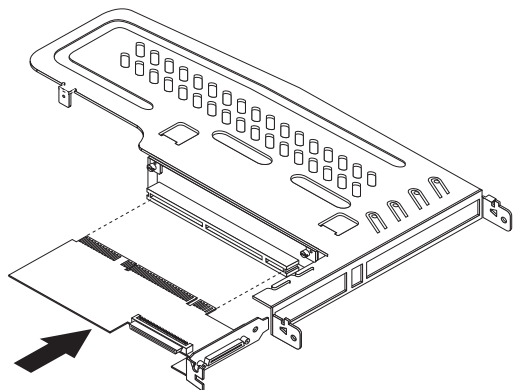


ロープロファイル拡張スロットのカバーを取り外す



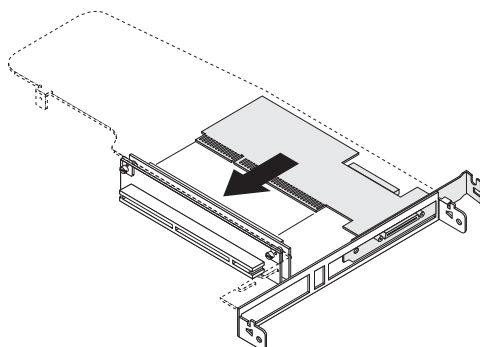
標準ハイト/フルレングス拡張スロットのカバーを取り外す

4. SCSI コントローラ ボードを保護パッケージから取り出します。コントローラ ボードの端以外には触れないようにしてください。コントローラ ボードには、一方のスロットにのみ取り付けできるタイプと両方のスロットに取り付けできるタイプがあります。両方のスロットに取り付けることのできるタイプは、ボードに付属のブラケットを別サイズのものと交換することにより、両方のスロットに対応します。別サイズのブラケットとそのブラケットのボードへの取り付け方法のマニュアルは、オプションキットに入っています。
5. ボードに付属のブラケットに、選択したスロット構成と互換性があるかどうか確認します。
互換性がない場合は、互換性のあるブラケットと交換してください。
6. 拡張ボードをスライドさせてスロットに挿入します。
ボードをしっかりと押して、スロットに正しく固定します。



SCSIコントローラ ボードをロープロファイル拡張スロットに取り付ける

次の図では、わかりやすくするために、PCIライザ ボード アセンブリの水平面を半透明で示しています。



SCSIコントローラ ボードを標準ハイト/フルレングス拡張スロットに取り付ける

SCSIドライブ ケーブルの配線

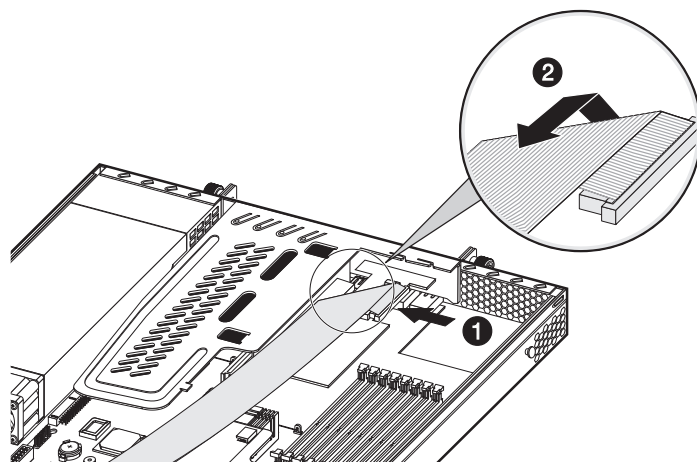
SCSIハードディスク ドライブのケーブル配線方法は、SCSIコントローラ ボードを取り付けた拡張スロットのタイプ（ロープロファイル スロットか標準ハイト/フルレングス スロットか）によって異なります。また、取り付けたSCSIコントローラ ボード上のケーブルコネクタの位置にもある程度左右されます。



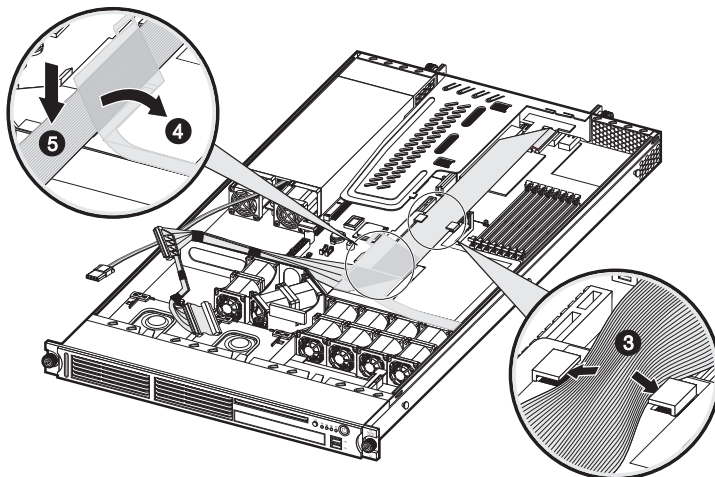
注意： SCSIドライブのケーブルは整然と配線してください。必要に応じて、本体の基盤に取り付けられているケーブル クリップを使用してケーブルを固定してください。ケーブルがトップ カバーにはさまったり、トップ カバーによって折り曲げられたりすることのないように配線します。また、本体内部の通気を妨げることをないようにします。

コントローラ ボードをロープロファイル拡張スロットに取り付けた場合、SCSIハードディスク ドライブ ケーブルを配線するには以下の手順に従ってください。

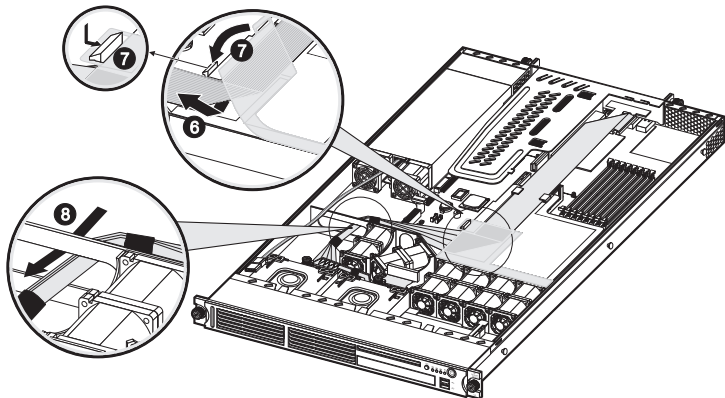
1. PCIライザ ボードアセンブリを元に戻します。
2. 次の手順を実行して、SCSIケーブルをSCSIハードディスク ドライブ側に配線します。
 - a. SCSIコントローラ ボード上にある、対応するコネクタに、ケーブルを接続します。
 - b. 次の図に合わせてSCSIケーブルのコネクタ側を折り曲げ、ケーブルをエアダクトの方向に配線します。
マークが付いた側が下向きになるようにしてください。



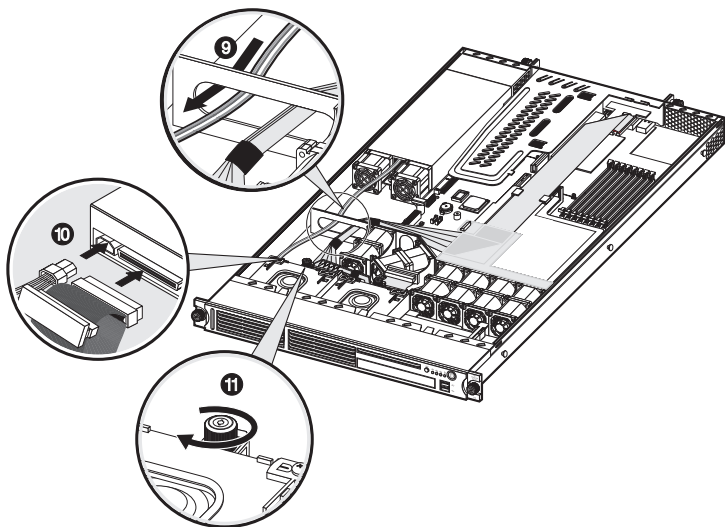
- c. エアダクト上の2つの固定用タブを使用して、ケーブルを固定します。
- d. エアダクトの保護用マイラー シートをはがします。
- e. ケーブルを横にしてエアダクトの上に置きます。



- f. 次の図に合わせて、SCSIケーブルの終端されている側を折り曲げます。
- g. ケーブルにマイラー シートをかぶせて、エア ダクトに再度貼り付けます。
- h. SCSIケーブルを、本体の仕切り壁にあるケーブル管理用の開口部を通して配線します。



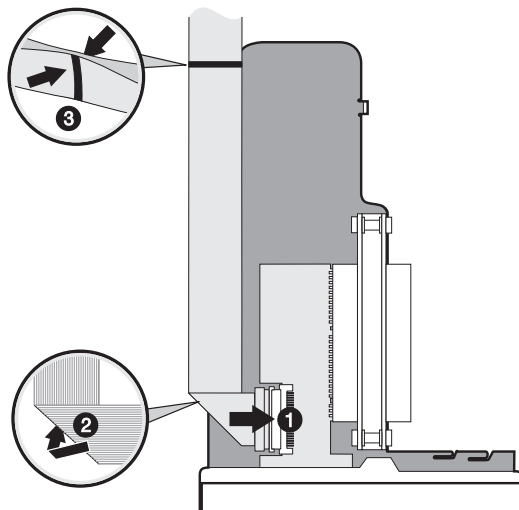
- i. 電源ケーブルを、本体の仕切り壁にあるケーブル管理用の開口部を通して配線します。
- j. 新しいドライブの背面にある、対応するコネクタに、SCSIケーブルおよび電源ケーブルを接続します。
SCSIケーブルの終端された側が、次の図に示す位置にあることを確認します。
- k. ハードディスク ドライブ キャリアに接触しているケーブルがないこと、およびすべてのケーブルが対応するコネクタに正しく配線されていることを確認してから、ネジを締め、ハードディスク ドライブ アセンブリを本体に固定します。



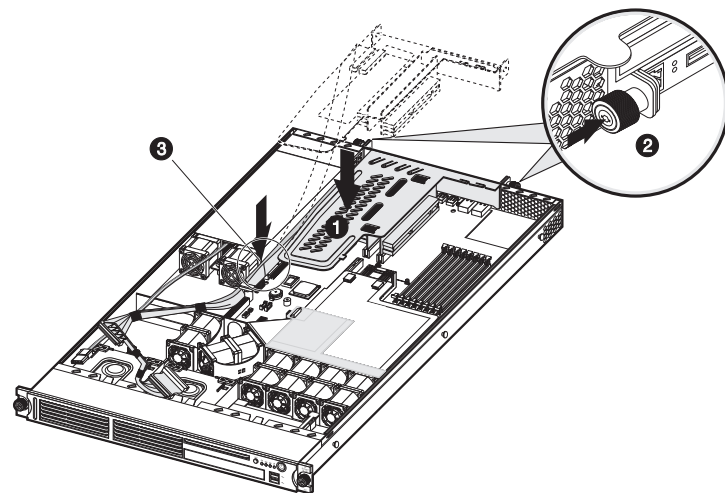
3. 前の項で説明した取り付け後の手順を実行します。

コントローラ ボードを標準ハイト/フルレングス拡張スロットに取り付けた場合、SCSIハードディスク ドライブ ケーブルを配線するには以下の手順に従ってください。

1. 次の手順を実行して、SCSIコントローラ ボードにSCSIケーブルを接続します。
 - a. ケーブルをSCSIコントローラ ボード上の対応するコネクタに接続します。
 - b. 次の図に合わせて、SCSIケーブルのコネクタ側を折り曲げます。
 - c. ケーブルにマークされている、コネクタ側から240mmを示す位置に、結束バンド（SCSIケーブル オプション キットに同梱）を取り付けます。

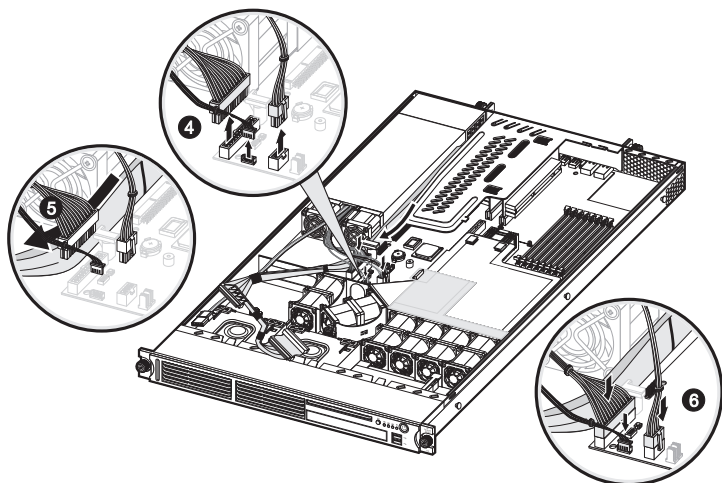


2. 次の手順を実行して、SCSIケーブルをSCSIハードディスク ドライブ側に配線します。
 - a. アセンブリの位置を本体背面の固定用器具に合わせます。
 - b. 2本の固定用つまみネジを締め、アセンブリを本体に固定します。
 - c. SCSIケーブルをIDEケーブルとパワー サプライの間を通して配線します。必ず、ケーブルを横にして配線してください。

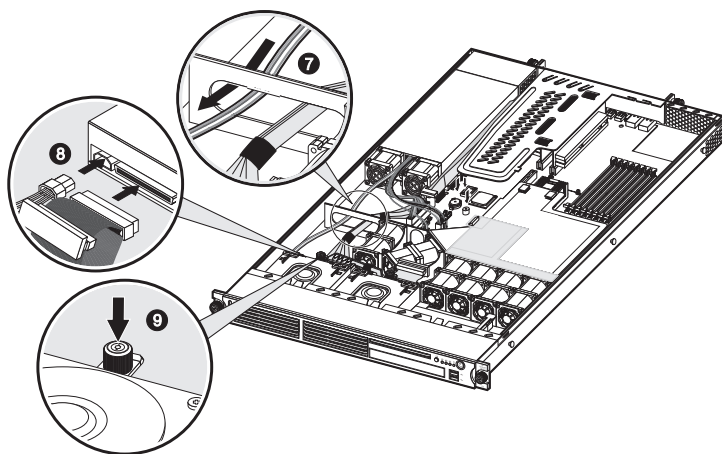


- d. システム ボードのコネクタから、8ピンATX CPU電源ケーブル、24ピンATXシステム ボード電源ケーブル、および4ピン12C PSUケーブルを抜き取ります。
- e. 前の手順で取り外した3本のケーブルの下にSCSIケーブルを通します。

- f. ATX CPU電源ケーブル、ATXシステム ボード電源ケーブル、およびI2C PSUケーブルを、SCSIケーブルの上を通して、それぞれ対応するシステム ボード コネクタに接続しなおします。



- g. SCSIケーブルおよび電源ケーブルを、本体の仕切り壁にあるケーブル管理用の開口部を通して配線します。
- h. 新しいドライブの背面にある、対応するコネクタに、SCSIケーブルおよび電源ケーブルを接続します。
SCSIケーブルの終端された側が、次の図に示す位置にあることを確認します。
- i. ハードディスク ドライブ キャリアに接触しているケーブルがないこと、およびすべてのケーブルが対応するコネクタに正しく配線されていることを確認してから、ネジを締め、ハードディスク ドライブ アセンブリを本体に固定します。



3. 前の項で説明した取り付け後の手順を実行します。